

令和 3年 6月 8日

西東京市地域自立支援協議会 相談支援部会事務局  
基幹相談支援センターえぼっく

令和3年度 第1回 西東京市地域自立支援協議会 相談支援部会  
実 施 報 告 書

標記の会議を実施しましたので、以下のように報告します。

記

《実施日時》

令和3年4月30日（金）10時～11時30分

《実施場所》

西東京市障害者総合支援センターフレンドリー 1F 会議室  
（Zoom を用いたオンライン会議も同時開催）

《議題》

- ・今年度のスケジュールについて
  - ・地域自立支援協議会（本会）への報告内容確認
  - ・地域課題抽出シートの検討
- （詳細は別添の議事要旨を参照のこと）

《決定事項等》

障害当事者が合理的配慮を得やすいよう普及啓発を行っていく必要がある。

《提案》

自立支援協議会として、「合理的配慮」に関する研修・講演会を行えないか。  
特に商工会や経済団体など、福祉分野と直接のかかわりが無い団体へ働きかけを行うこと  
で、相談支援専門員が相談しやすい関係性（の下地）づくりを行っていきたい。  
（改正障害者差別解消法が成立し、事業者による合理的配慮の提供が義務化されたことも  
タイミングとして良いのではないかとと思われる）

以上

令和3年度 第1回 西東京市地域自立支援協議会 相談支援部会 議事要旨

1.開催日時	令和3年4月30日(金) 10時～11時00分
2.開催場所	西東京市障害者総合支援センターフレンドリー 1階 会議室
3.出席者	<p>田辺広子、池谷悦加(相談室こころ)、小川よし子(保谷障害者福祉センター)、森川治彦(相談支援事業所 ポラリス)、萬年麻里(あいおん相談支援センター)、浅野奈津季(地域活動支援センター ハーモニー)、波呂和子(地域活動支援センター ブルーム)、北條佳子(相談支援センター さくら)、日下真紀(相談支援事業所 ゆいまーる)、中川未知男(ハピネス)、森口敏行(特定相談支援事業所 ワン・ストップ)</p> <p>オブザーバー：榊(障害福祉課)、原田(ひいらぎ)</p> <p>事務局：原埜、今野、横田</p> <p style="text-align: right;">(順不同、敬称略)</p>
4.議事	<p><u>1、開会、事務局挨拶</u></p> <p><u>2、出席者確認</u></p> <p><u>3、議事</u></p> <p>ア 今年度のスケジュールについて</p> <p>前回は緊急事態宣言下で中止となったが、通常は3ヵ月に1回の開催であり、今後はZoomを利用した形式で開催をしていくことで了承を得た。</p> <p>イ 地域自立支援協議会(本会)への報告</p> <p>前回話し合われた、地域課題等を本会へ提言(報告)していく方針を、本会へ報告をしたが、その後の返答を得ていない。本会自体が書面開催で、その後どうなっているか不明となっている。今後確認していく。</p> <p>ウ 地域課題抽出シート</p> <p>事前提出された地域課題抽出シートが6事例ある。提出順に検討を進めることとなった。本日はNo.1の1事例「車椅子利用の方、コンビニでひとりで買い物をする際に、カバンから財布を取り出してほしいとの依頼を店員さんに断られ買い物ができなかった」を検討した。</p> <p>&lt;困りごとの状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカード端末やセルフレジを利用する際に手が届かないことがある。</li> <li>・他者の持ち物を触ることへの感染リスクもあるし、支払いの代理行為は店員には難しいのではないか。</li> </ul> <p>&lt;解決案としての意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みの店であれば本人が直接交渉をし、必要に応じて支援者がサポ</li> </ul>

ートする。

- ・ヘルプカードにメッセージを掲載するなど、ヘルプカードを有効利用する。ヘルプカードの啓蒙活動をおこなう。

- ・コンビニなら地域のエリアマネジャーに連絡して、合理的配慮について検討してもらおう。個人が交渉しやすい土台づくりをおこなう。

- ・商工会などの団体とのつながりを視野に入れた、合理的配慮の啓発活動を行ってはどうか。行政、自立協、基幹それぞれの立場で普及啓発の活動について確認、検討をおこなう。

<その他、事例に関連して>

- ・同行支援する際のヘルパーの代理行為、権限等が拡大し、それが周囲からも認められるようになってよい、という意見もあった。

<障害福祉課より>

商工会やコンビニのエリアマネジャー等、他団体等の関係作りは行政の役割としてやらなくてはと思った。合理的配慮への働きかけを、現在どうしているか確認していく。

エ その他

- ・地域課題抽出シートの取り扱いについては、通し番号順に丁寧に検討していくこととなった。事務局より定期的に書式等案内メールを送り、事例があれば事務局へ送付する。

- ・会議の開催方法としては、今後もオンライン (Zoom) +会場のハイブリット方式でおこなう。会場にいる方の映像・音声が届くような環境づくりを検討していく。

- ・相談支援センターえぼっくが、昨年 10 月より基幹相談支援センターとなった。パンフレットを刷新したため、各事業所へ郵送予定 (コロナ禍での訪問自粛)。

#### 4、閉会

次回は 7/16 (金) 10:00~11:00 予定